

(様式 4)

令和 7 年 3 月 1 0 日

令和 6 年度 第 3 回 大阪市立塚本小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立塚本小学校

校長名 北野 元靖

日 時		令和7年3月7日（金） 19：00～	
場 所		塚本小学校1階 ミーティングルーム	
出席者	委員 など	角本ひとみ（会長）川合昌壽（委員）中野昌樹（委員）間 雅則（委員） 檀原光博（委員）高橋昌美（委員）佐々木健仁（委員）	
	校 園	北野元靖（校長） 高原法子（教頭）	
	区役所	井畑怜生 皆（生活支援担当課長代理）	
議 題		(1) 令和6年度 運営に関する計画最終評価について (2) 令和6年度 全国体力・運動能力等調査の結果について (3) 令和6年度 大阪市学力経年調査の結果について	
協議 要旨	協議の結果		意見の概要
	(1)	○令和6年度 運営に関する 計画最終評価について  承認いただいた	<p>・学びを支える教育環境の充実のところで、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が50%を超えることを目標にしているが…</p> <p>→朝や下校前に、心の天気を入力している。また自習が早く終わったらデジタルドリルに取り組ませたり、教科書のQRコードを読ませるなど授業で活用したりしている。8月に急激に割合が増加しているのは、1年生が端末を使い始める時期であることが影響している。11月から下がっているのは、作品展などの行事で忙しかったり、朝遅れてきた子ができていなかったりする影響が大きいと思われる。</p> <p>・不登校児童への取り組みはされているが、不登校気味になっている子に対しても「こうしたらいいいよ」というのを学校から出してもらいたい。</p> <p>・子どもたちは、どんどん良くなってきていることが校長先生の言葉からもわかる。このまま続けてほしい。</p>

		<p>・よく出来ているので、逆に「出来ていないところ」の負の部分に目を向けて、例えば、「学校が楽しくない」と言っている子たちの数を減らす目標を設定し、こういう子たちにどのようにアプローチして改善していけばいいか考えて取り組むという方法もいいのではないかと思います。</p> <p>・塚本小の子たちは子どもらしい。旗当番で声かけしていると、元気に登校する姿が見られる。</p> <p>・子どもたちを大事に育てていただいている。いい方向に進んでいると分かる。今後は他の改善すべき点を見つけてやってもらってもいい。</p> <p>→学習参観や作品展には、100%に近い方が来てくださる。地域・保護者に支えられていると感じている。それに応えられるような教育を進めていきたい。区長からは、塚本小は「のびしろ」がある学校だと言っている。今後この「のびしろ」を大事に教育を進めていきたい。</p>
(2)	○令和6年度 全国体力・運動能力等調査の結果について	<p>・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、運動やスポーツが大切なものかという問いへの最も肯定的な回答が女子はとても少ない。身体を動かすことが大切であるという意識付けが弱いのではないか。</p> <p>→今後、意識付けしていけるようにしたい。子どもたちの体力（持久力）にも課題はある。若い先生たちは休み時間に、子どもたちとよく遊んでくれている。また、地域ではソフトボールやキックベースボールを頑張ってくれている。プールなどの習いごとに通う子も多い。かけ足週間や縄跳び週間では、みんな楽しく取り組んでいる。今後も続けていきたい。</p> <p>・睡眠時間は男女ともに、8時間以上とれているが、SNSの使用時間は大阪市や全国より多いのが気になる。視力への影響は？</p>

		<p>SNS とは切り離せない生活になり、だんだんこういう傾向になっていくのかなと思う。</p> <p>→視力については調べないと分からないが、極端に視力が低い子が多いことはない。</p> <p>・ 中学は、ダンスが盛んに行われている。小学校では？</p> <p>→区の出前授業などで、いくつかの学年で取り組んでいる。</p> <p>・ 英語の経年調査の結果が高いのはすごいが、何かあるのか？</p> <p>→習いごととして英語に取り組んでいる児童が多い。学校としては、英語の専科教員や C-NET が指導できていることが大きい。</p>
協議資料	(3)	<p>○令和 6 年度大阪市学力経年調査の結果について</p>
備考		<p>傍聴者[ 0 ]名</p>

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立塚本小学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・総括シートの「本年度の自己評価結果の総括」は妥当であると承認いただいた。
- ・子どもたちは、どんどん良くなっていることが校長先生の言葉からもわかる。このまま続けてほしい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 令和6年度末の児童アンケートで「学校はたのしいですか」の質問に対して肯定的に答える児童の割合を全学年 85%以上にする。

- ・不登校児童への取り組みはされているが、不登校気味になっている子に対しても「こうしたらいいよ」というのを学校から出してもらいたい。
- ・塚本小の子たちは子どもらしい。旗当番で声かけしていると、元気に登校する姿が見られる。

年度目標：【未来を切り開く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を60%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「理科の授業の内容はよくわかりますか。」に対して最も肯定的な「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答する児童の割合を65%以上にする。

- ・運動について、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果で、運動やスポーツが大切なものかという問いへの最も肯定的な回答が女子はとても少ない。身体を動かすことが大切であるという意識付けが弱いのではないか。

→今後、意識付けしていけるようにしたい。子どもたちの体力（持久力）にも課題はある。若い先生たちは休み時間に、子どもたちとよく遊んでくれている。また、地域ではソフトボールやキックベースボールを頑張ってくれている。プールなどの習いごとに通う子も多い。

かけ足週間や縄跳び週間では、みんな楽しく取り組んでいる。今後も続けていきたい。

・睡眠時間は男女ともに、8時間以上とれているが、SNSの使用時間は大阪市や全国より多いのが気になる。視力への影響がある SNS とは切り離せない生活になり、だんだんこういう傾向になっていくのかなと思う。

・中学は、ダンスが盛んに行われている。小学校では？

→区の出前授業などで、いくつかの学年で取り組んでいる。

・英語の経年調査の結果が高いのはすごいが、何かあるのか？

→習いごととして英語に取り組んでいる児童が多い。学校としては、英語の専科教員や C-NET が指導できていることが大きい。

#### 年度目標：【**学びを支える教育環境の充実**】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)

○ゆとりの日を週1回設定する。

・学びを支える教育環境の充実のところで、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が50%を超えることを目標にしているが…

→朝や下校前に、心の天気を入力している。また自習が早く終わったらデジタルドリルに取り組みせたり、教科書の QR コードを読ませるなど授業で活用したりしている。8月に急激に割合が増加しているのは、1年生が端末を使い始める時期であることが影響している。11月から下がっているのは、作品展などの行事で忙しかったり、朝遅れてきた子ができていなかったりする影響が大きいと思われる。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

・よく出来ているので、逆に「出来ていないところ」の負の部分に目を向けて、例えば、「学校が楽しくない」と言っている子たちの数を減らす目標を設定し、こういう子たちにどのようにアプローチして改善していけばいいか考えて取り組むという方法もいいのではないかなと思う。

・子どもたちを大事に育てていただいている。いい方向に進んでいると分かる。今後は他の改善すべき点を見つけてやってもらってもいい。

→学習参観や作品展には、100%に近い方が来てくださる。地域・保護者に支えられていると感じている。それに応えられるような教育を進めていきたい。区長からは、塚本小は「のびしろ」がある学校だと言っている。今後もこの「のびしろ」を大事に教育を進めていきたい。